

# エコアクション21 環境経営レポート

取組期間

2023年10月 ～ 2024年9月

発行日 2024年11月25日



# 目 次

	ページ数
1 組織の概要	1
(1) 事業所名及び代表者名	
(2) 所在地	
(3) 環境管理責任者名及び担当者連絡先	
(4) 事業活動の内容	
(5) 事業規模	
2 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日	1
3 環境経営方針	2
4 実施体制	3
5 環境経営目標	4
6 環境経営計画	5
7 環境経営目標の実績結果と評価	6
8 環境経営計画の取組結果とその評価	7・8
9 次年度の環境経営計画次年度の環境経営計画	9・10
10 環境関連法規等の順守状況の確認、及び、評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	11
11 代表者による全体評価と見直し・指示	12

# 【取組の対象組織・活動の明確化】

## □取組の対象組織・活動

### ○組織の概要

(1) 名称及び代表者

- ・株式会社 藤川設備
- ・代表取締役 藤川浩二

(2) 所在地

- ・本社・資材置場1 高松市香川町安原下第3号315番地
- ・資材置場2 高松市三谷町2493番地1

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

- ・環境管理責任者 藤川佳代
- ・連絡担当者 藤川佳代
- ・TEL 087-879-7133

(4) 事業内容

- ・水道施設工事業

(5) 事業の規模

- ・売上高(出来高) 54百万円／2023年10月～2024年9月
- ・延べ面積 事務所 81.675㎡  
倉庫 326.45㎡
- ・従業員 8人

(6) 事業年度

- ・10月～9月

### ○認証・登録の対象範囲

登録事業所

- ・本社・資材置場1

事業内容

- ・水道施設工事業

取組期間

- ・2023年10月～2024年9月

関連事業所

なし

# 株式会社 藤川設備

## 環境経営方針

### 基本理念

当社がある山間部では、物理的に水道の届かない未給水地区という場所がまだまだたくさんあります。その地域の御世帯は家より上流で地下水を溜めて日々の生活を送っています。しかし、近年では里山の整備もされなく、山は荒れ、大雨が降ると落ち葉やごみで貯水池は詰まり地下水の供給が止まってしまいます。環境を整えることが、生活に関わる常用な課題です。「1年365日、暮らしのそばにはいつも水がある」私どもの一番大事にしている仕事への思いです。本業である生活に欠かせない水を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

### 行動指針

1. 具体的に次の項目に取り組みます。
  1. 省エネ活動を推進し、二酸化炭素排出量削減に取り組みます。
  2. 廃棄物の削減並びにリサイクル化に取り組みます。
  3. 水の節水に努めます。
  4. 環境に配慮した施工に取り組みます。
  5. 環境関連法規等を守ります。
  6. 地元の山里の竹の伐採、山桜の苗木の植林を行い地域の環境に貢献します。

環境経営方針は、全ての従業員及び下請の協力会社様に周知し、継続的改善活動に取り組みます。

制定日：2022年 8月 1日

代表取締役 藤川浩二



## 【5. 環境経営目標】

### ○中・長期目的・目標

目的	単位	目 標			
		基準年 (2021年)	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素排出量削減 *1	kg-CO2	22,395	22,171	21,947	21,723
・電気使用量削減	kWh	4,053	4,012	3,971	3,931
・事務所ガソリン	L	2,230	2,208	2,185	2,163
・現場ガソリン	L	1,942	1,922	1,903	1,883
・軽油使用量削減	L	3,747	3,709	3,671	3,634
一般廃棄物排出量削減	kg	13.2	13.1	12.9	12.8
産業廃棄物リサイクル率向上	%	100%	100%	100%	100%
水総使用量削減	m3	115	114	113	112
組織本来の取組 *2	実施率	100%	100%	100%	100%

\*1. 電力のCO2 発生量については、

四国電力2022年1月13日公表調整後排出係数0.574 (kg-CO2/kWh) を使用した。

\*2. 組織本来の取組として環境に配慮した取り組みとして次の①②に取り組む。

①排ガス規制型建設機械の使用

②各工事各工種着手前の作業手順の周知

※化学物質使用はありません。

### ○短期目的・目標

・取組期間 2023年 10月 ～ 2024年9月

目的	単位	基準年 (2021年)	目標
二酸化炭素排出量削減 *1	kg-CO2	22,395	21,947
・電気使用量削減	kWh	4,053	3,971
・事務所ガソリン	L	2,230	2,185
・現場ガソリン	L	1,942	1,903
・軽油使用量削減	L	3,747	3,671
一般廃棄物排出量削減	kg	13.2	12.9
産業廃棄物リサイクル率向上	%	100%	100%
水総使用量削減	m3	115	113
組織本来の取組 *2	実施率	100%	100%

## 【6. 環境経営計画】

・取組期間 2023年10月～2024年9月

		具体的実施項目
二酸化炭素排出量削減	電気使用量削減	①不要な照明を消す ②適正温度の維持 ③休憩時、不在時の消灯
	ガソリン使用量削減	①エコドライブの励行 ②空気圧の点検
	軽油使用量削減	①アイドリングストップの徹底 ②エコドライブの励行 ③定期的な保守点検の実施
廃棄物排出量削減	一般廃棄物削減	①コピー時には事前確認する ②裏紙の利用
	産業廃棄物のリサイクル化	①分別の徹底 ②混合廃棄物を出さない
水使用量削減	節水	①バケツ洗車 ②節水意識の働きかけを実施
組織本来の取組	環境配慮した施工	①排ガス規制型建設機械の使用 ②各工事各工種着手前の作業手順の周知
地域の環境への貢献	地域の環境への取り組み	①地元の山里の竹の伐採 ②山桜の苗木の植林

## 【7. 環境経営目標実績結果と評価】

・取組期間 2023年10月～2024年9月

目的	単位	基準年 (2022年)	目標	実績	達成率	評価
二酸化炭素排出量削減 *1	kg-CO2	22,395	21,947	21,588	2%減	○
・電気使用量削減	kWh	4,053	4,012	3,353	17%減	○
・事務所ガソリン使用量削減	L	2,230	2,208	433	81%減	○
・現場ガソリン使用量削減	L	1,942	1,922	1,623	16%減	○
・軽油使用量削減	L	3,747	3,709	5,541	49%増	×
一般廃棄物排出量削減	kg	13.2	12.9	12.6	2%減	○
産業廃棄物リサイクル率向上	%	100%	100%	99.8%	0.2%減	×
水総使用量削減	m3	115	114	159	39%増	×
組織本来の取組 *2	実施率	100%	100%	100%	100%	○

\*1. 電力のCO<sub>2</sub>発生量については、

四国電力2022年1月13日公表調整後排出係数0.574 (kg-CO<sub>2</sub>/kWh) を使用した。

\*2. 組織本来の取組として環境に配慮した取り組みとして次の①②に取り組む。

①排ガス規制型建設機械の使用

②各工事各工種着手前の作業手順の周知

※化学物質の使用はありません。

### ○コメント

二酸化炭素排出量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不要な照明を付けない事を徹底した。</li> <li>・車両の入れ替えにより、軽油車の使用頻度が増えた。</li> <li>・車載の道具、荷物などを整理して、不要なものを荷降ろしてエコドライブの遂行に努めた。</li> </ul>
廃棄物排出量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業廃棄物リサイクル率を常に意識して分別を徹底したが、リサイクルルートがない廃棄物の排出もあったため、僅かに未達成となった。</li> <li>・一般廃棄物も購入する時に無包装などを選ぶようにした。</li> </ul>
水総使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バケツ洗車で節水を意識した。</li> <li>・漏水修繕時に泥水で汚れた道路清掃をする為、水をタンクで運んだ。</li> </ul> <p>水使用量は増加したが、環境美化には役立った。</p>
組織本来の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各工事着工前施工計画を、全員で確認し環境に配慮した施工を実施した。</li> </ul>

# 【8. 環境経営計画の取組結果とその評価】

(具体的取組内容と月次実施報告)

・取組期間 2023年10月～2024年9月

		具体的実施項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月	評価
二酸化炭素排出量削減	電気使用量削減	①不要な照明を消す	○	○	○	○	○	○	○
		②適正温度の維持	○	○	○	○	○	○	
		③休憩時、不在時の消灯	○	○	○	○	○	○	
	ガソリン使用量削減	①エコドライブの励行	○	○	○	○	○	○	○
		②空気圧の点検	○	○	○	○	○	○	
	軽油使用量削減	①アイドリングストップの徹底	○	○	○	○	○	○	○
		②エコドライブの励行	○	○	○	○	○	○	
		③定期的な保守点検の実施	○	○	○	○	○	○	
	廃棄物排出量削減	一般廃棄物削減	①コピー時には事前確認する	○	○	○	○	○	○
②裏紙の利用			○	○	○	○	○	○	
産業廃棄物のリサイクル化		①分別の徹底	○	○	○	○	○	○	○
		②混合廃棄物を出さない	○	○	○	○	○	○	
水使用量削減	節水	①バケツ洗車	○	○	○	○	○	○	○
		②節水意識の働きかけを実施	○	○	○	○	○	○	
組織本来の取組	環境配慮した施工	①排ガス規制型建設機械の使用	○	○	○	○	○	○	○
		②各工事各工種着手前の作業手順の周知	○	○	○	○	○	○	
地域の環境への貢献	地域の環境への取り組み	①地元の山里の竹の伐採	春と秋に実施						△
		②山桜の苗木の植林	秋に実施						

○：計画通り実施 △：一部出来なかった ×：出来ていない

## ○評価に対するコメントと次年度の取組内容

目的	評価に対するコメント
二酸化炭素	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気使用量削減とガソリン使用量削減の取組みを意識することが出来た。</li> <li>・車両数増加により使用量は増加したが、毎日運行計画を立てる事により無駄な運行を見直し、軽油使用量削減に努めた。</li> </ul>
廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務所で取組みで、コピー用紙の裏紙利用を徹底した。</li> <li>・産業廃棄物への取組みは出来ている。</li> </ul>
水使用量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バケツ洗車をすることで、節水を意識した。</li> </ul>
組織本来の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2項目とも出来ている。</li> <li>・特に②は重点化し実施している。</li> <li>・何事も意識することが大切だと認識し、環境に配慮し続ける社風であり続けたい。</li> </ul>
地域の環境への貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画通り、山里の竹の伐採・下草刈は実施。</li> <li>・苗木の生育不足の為、植樹は未実施となった。実施できるよう時期を見直したい。</li> </ul>

# 【8. 環境経営計画の取組結果とその評価】

(具体的取組内容と月次実施報告)

・取組期間 2023年10月～2024年9月

		具体的実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	評価
二酸化炭素排出量削減	電気使用量削減	①不要な照明を消す	○	○	○	○	○	○	○
		②適正温度の維持	○	○	○	○	○	○	
		③休憩時、不在時の消灯	○	○	○	○	○	○	
	ガソリン使用量削減	①エコドライブの励行	○	○	○	○	○	○	○
		②空気圧の点検	○	○	○	○	○	○	
	軽油使用量削減	①アイドリングストップの徹底	○	○	○	○	○	○	○
②エコドライブの励行		○	○	○	○	○	○		
③定期的な保守点検の実施		○	○	○	○	○	○		
廃棄物排出量削減	一般廃棄物削減	①コピー時には事前確認する	○	○	○	○	○	○	○
		②裏紙の利用	○	○	○	○	○	○	
	産業廃棄物のリサイクル化	①分別の徹底	○	○	○	○	○	○	○
		②混合廃棄物を出さない	○	○	○	○	○	○	
水使用量削減	節水	①バケツ洗車	○	○	○	○	○	○	○
		②節水意識の働きかけを実施	○	○	○	○	○	○	
組織本来の取組	環境配慮した施工	①排ガス規制型建設機械の使用	○	○	○	○	○	○	○
		②各工事各工種着手前の作業手順の周知	○	○	○	○	○	○	
地域の環境への貢献	地域の環境への取り組み	①地元の山里の竹の伐採	春と秋に実施						△
		②山桜の苗木の植林	秋に実施						

○：計画通り実施    △：一部出来なかった    ×：出来ていない

## ○評価に対するコメントと次年度の取組内容

目的	評価に対するコメント
二酸化炭素	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気使用量削減とガソリン使用量削減の取組みを意識することが出来た。</li> <li>・車両数増加により使用量は増加したが、毎日運行計画を立てる事により無駄な運行を見直し、軽油使用量削減に努めた。</li> </ul>
廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務所での取組みで、コピー用紙の裏紙利用を徹底した。</li> <li>・産業廃棄物への取組みは出来ている。</li> </ul>
水使用量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バケツ洗車を実施する事により、節水を意識した。</li> </ul>
組織本来の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2項目とも出来ている。</li> <li>・特に②は重点化し実施している。</li> <li>・何事も意識することが大切だと認識し、環境に配慮し続ける社風であり続けたい。</li> </ul>
地域の環境への貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画通り、山里の竹の伐採・下草刈は実施した。</li> <li>・苗木の植樹の適時が11月であると判明したため、苗木の植樹は秋期の計画とする。</li> </ul>

## 【9. 次年度の環境経営目標】

○取組期間 2024年10月～2025年9月

目的	単位	基準年 (2022年)	目標
二酸化炭素排出量削減 *1	kg-CO2	2,217	21,723
・電気使用量削減	kWh	4,053	3,931
・事務所ガソリン	L	2,230	2,163
・現場ガソリン	L	1,942	1,883
・軽油使用量削減	L	3,747	3,634
一般廃棄物排出量削減	kg	13.1	12.8
産業廃棄物リサイクル率向上	%	100%	100%
水総使用量削減	m3	116.5	112
組織本来の取組 *2	実施率	100%	100%

\*1. 電力のCO<sub>2</sub>発生量については、

四国電力2022年1月13日公表調整後排出係数0.574 (kg-CO<sub>2</sub>/kWh) を使用した。

\*2. 組織本来の取組として環境に配慮した取り組みとして次の①②に取り組む。

①排ガス規制型建設機械の使用

②各工事各工種着手前の作業手順の周知

※化学物質使用はありません。

## 【9. 次年度の環境経営計画】

○取組期間 2024年10月～2025年9月

		具体的実施項目
二酸化炭素排出量削減	電気使用量削減	①不要な照明を消す ②適正温度の維持 ③休憩時、不在時の消灯
	ガソリン使用量削減	①エコドライブの励行 ②空気圧の点検
	軽油使用量削減	①アイドリングストップの徹底 ②エコドライブの励行 ③定期的な保守点検の実施
廃棄物排出量削減	一般廃棄物削減	①コピー時には事前確認する ②裏紙の利用
	産業廃棄物のリサイクル化	①分別の徹底 ②混合廃棄物を出さない
水使用量削減	節水	①バケツ洗車 ②節水意識の働きかけを実施
組織本来の取組	環境配慮した施工	①排ガス規制型建設機械の使用 ②各工事各工種着手前の作業手順の周知
地域の環境への貢献	地域の環境への取り組み	①地元の山里の竹の伐採 ②山桜の苗木の植林

## 【10. 環境関連法規等の順守状況の確認、及び、評価の結果、並びに違反、訴訴等の有無】

適用法令等	適用内容	遵守事項
廃棄物処理法	産業廃棄物の委託処理	委託先の許可確認
	運搬・処分業者との委託契約	委託契約の締結・5年間保存
	マニフェストの交付と期間内処理の確認	マニフェスト管理・5年間保存
	県知事への年度報告	管理票交付等状況報告書提出
建設リサイクル法	一定規模の解体・建築・土木工事において、分別解体・再資源化・再生資源の使用の計画を行う(工事着手7日前まで届出)	届出書の提出、規制基準の遵守
建築基準法	石綿・クロロピリホス含有建材使用禁止	基準法28条の2記載のシックハウス対策の記述、基準の遵守
	ホルムアルデヒドに関する規制	
騒音規制法	知事(市町村長)へ7日前までに届け出	届出書の提出、規制基準の遵守
	作業敷地境界にて85デシベル以下	
振動規制法	知事(市町村長)へ7日前までに届け出	届出書の提出、規制基準の遵守
	作業敷地境界にて75デシベル以下	
家電リサイクル法	指定家電の適正な処理	適正処分・領収証
浄化槽法	浄化槽(合併処理浄化槽)設置届出	届出書の提出
	浄化槽の維持管理(法定検査・保守点検・清掃)	検査報告書の保管
大気汚染防止法	・解体等工事の石綿使用の有無の事前調査	調査結果の現場掲示
	・建築物石綿含有建材調査者講習を修了した者が事前調査を行う	講習修了証
フロン排出抑制法	特定製品の修理・廃棄時の、適正回収・破壊措置義務	フロン回収登録業者への委託発注者に書面説明
	重機及び業務用エアコンの簡易点検(3か月に1回以上)	簡易点検記録作成
自動車リサイクル法	使用済み自動車の再資源化	再資源化等預託金の支払い
グリーン購入法	環境にやさしい事務用品等の購入	対象製品の購入
作業所で同意するその他の要求事項	時間外の作業における近隣協定、資材等の搬出入時に近隣からの要望、発注者からの要望で同意するもの	時間外での作業は事前に連絡、粉塵の発生防止、アイドリングストップ
香川県環境基本条例	事業者の責務(第5条) 事業活動を行うに当たっては公害の防止その他の環境への負荷の低減又は自然環境の適正な保全の為に必要な措置を講じなければならない。	第5条の適切な実施
香川県生活環境の保全に関する条例	事業者の責務(第90条、92条、93条、96条、99条) エコ運転の励行。廃棄物の減少に努め資源の有効活用。電気の使用量削減。消費量が少ない電気機器等の使用及び効率的な使用。環境マネジメントプログラム展開体制の組織の設置。アイドリングストップ。	第90条、92条、93条、96条、99条の適切な実施
高松市環境基本条例	事業者の責務(第5条) 事業活動によって発生する廃棄物を適正に処理する。	第5条の適切な実施

環境関連法規は順守しています。利害関係者からの訴訟及び関係行政機関からの指摘も過去3年間ありません。

## 【11. 代表者による全体評価と見直し・指示】

2023年10月～2024年9月の1年間で二酸化炭素削減や廃棄物削減の取組みを実施した。

二酸化炭素排出量及び一般廃棄物排出量は目標達成する事が出来た。

工事の際、排ガス規制型建設機械の使用や 着手前の作業手順周知も徹底することが出来た。

この取組みを実施する事により、高松市登録「地球にやさしいオフィス」

香川県登録「かがわ地方創生SDGs」にも関連していて、環境の意識の向上や

社内のチームワーク、フットワークも強くなり、良い連鎖が生じているようになったと

改めて感じている。

出来ることは、僅かではあるが、この取組みを継続して、生活しやすい環境づくりに

貢献できるように続けたい。

次年度の目標では、基準年に対して3%削減に設定している。

従業員全員で、環境への取組みが定着出来るように、なお一層努力したい。

環境経営方針、実施体制、環境経営目標及び環境経営計画については、継続する。

2024年11月22日

株式会社 藤川設備

代表取締役 藤川浩二